

8-3

たかがハミガキ されどハミガキ

なぜ、入所したら出来ないの？

口腔ケア

個別ケアへの取り組み

特別養護老人ホーム 偕楽園ホーム

発表者：ケアワーカー 足立 晴香	共同研究者：ケアワーカー 原 弘樹
所在地：東京都八王子市宮下町983番地	共同研究者：ケアワーカー 佐々木 信雄
TEL：042-691-2830	E-mail：home@kairakuen2830.sakura.ne.jp
FAX：042-691-8288	URL：http://www.kairakuen2830.sakura.ne.jp

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	30年来自然に囲まれ「福祉の心」を育んできました。特養(100床)、ショートと居宅支援のサービスを通して地域のお役に立ちたいと思います。一人ひとりの「生活の質」「あなたらしい生活」を大切にし「寄り添うケア」を心がけていきます。
----------------------------	---

<p>〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">・職員の意識改革・知識、技術力の向上・個別のアセスメント・介助を必要とする利用者への口腔ケア、支援・胃瘻による栄養療法対象者への口腔ケア・口腔ケアを生活の一部に <p>〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none">・口腔リハビリとして「口腔体操」を導入 職員によるビデオ作成・物品の清潔を保つ 物品の管理、消毒・胃瘻による栄養療法対象者の誤嚥・肺炎予防を目的とした口腔ケア 給水吸引機の検討・歯科医師による診察と衛生士による口腔ケア 全利用者への検診実施・定期的な口腔アセスメント 表に基づき、担当職員による年2回のアセスメント・勉強会を通して知識・技術の取得と意識付け 口腔ケア委員会主催による勉強会の実施、歯科医師・歯科衛生士による技術指導の実施・時間と場所の設定 食後のケアと洗面所での取り組み	<p>〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none">・「口腔体操」の失敗 職員の意識付け不足・ステリライザーやカンファ水を用いての衛生管理 消毒保管庫の導入。消毒液の活用・給水吸引機による胃瘻による栄養療法対象者への口腔ケアの導入 歯科医師・歯科衛生士指導のもと給水吸引機の使用開始・歯科医師からの物品選定、ケア方法の指導 口腔内の状態に合わせた物品選び・食形態の見直し職員の観察力の向上 食物残渣などの確認ができ、口腔ケアと食事の関係性が理解できた。・マニュアルの作成、勉強会の実施 歯科医師、衛生士による技術指導の場を設けた。・口腔ケアが生活の一部になった。 ケアに係る時間ができた。利用者自身に歯磨きの習慣が戻った。・全利用者へ口腔ケアを取り組む事ができた。 個別での関わりができた <p>〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none">・機能的口腔ケアと器質的口腔ケアの両立・給水吸引機のさらなる普及・自身で歯磨きをされている方への関わり方・さらなる職員の技術向上とやる気向上へ
--	---

【メモ欄】